

平成 29 年度 農業後継者特別支援事業実績書

事業主体名 KEファーマーズ

1 目的

KEファーマーズでは、これまで小売販売用の茶3種を制作して、消費拡大活動に取り組んできた。一方、鹿児島県では、外国の観光客船の入港数や鹿児島空港の国際線利用者などが増加し、インバウンドが増加している。これを好機として捉え、外国人観光客を対象とした茶の新商品開発に取り組み、販路拡大を目指す。

2 実施状況

(1) 各種研修会の実施

会員がプロジェクトほ場で生産した茶の求評会や現地検討会などを実施し、生産技術の向上が図られたほか、インバウンドに対応した茶の生産に向けて外国人消費者の嗜好性調査やマーケティング研修、海外需要動向研修、有機栽培研修など各種研修会を実施した。



写真1 外国人消費者の嗜好性調査

(2) 新パッケージ制作

南九州市の地域おこし協力隊の協力を得て、茶の新パッケージを開発した。

「外国人旅行者が、鹿児島の思い出としてお茶を購入し、母国の家族・知人にも鹿児島茶をPRして欲しい」との願いを込めたパッケージを制作した。

少量・低単価で販売するほか、裏面には、英語の紹介文及びお茶の入れ方を併記するなど、外国人が手に取りやすいよう工夫されている。



写真2 新パッケージ

(3) 外国人向け消費拡大活動

3月19日、マリンポートに来航したクイーンエリザベス号の乗船客を対象にお茶の消費拡大活動を実施し、盛況を得た。

乗船客からは、「フレッシュな味で、日本を感じる味。かわいいパッケージで友人にもプレゼントしたい」といった好印象のアンケート結果が得られた。



写真3 外国人向けに茶の振る舞い

3 今後の課題、取り組み

- (1) インバウンドに対応した茶の消費拡大支援の継続
- (2) プロジェクト活動成果の地域への波及
- (3) 有機栽培などプロジェクトの高度化